殴りそとぐ太陽の光りもなごや

~黒潮に乗り組営の客から

撮りになるなど順る御元気に拜 に、仲間下には甲板を即散步避ば

ムチャツカ南端上り南東四百五月蔵】卵凸船は二十二日正午カ

日蘇漁業問題

十四、横脳を唱る一千四百三十

塩の位置にある小さい低温階の

されながら弾自分でライカでお

街を祀る一千六十回である

【平安丸にて二十二日間盟特派

平安丸黒潮に乗る

模様である、一方孔財政部長は近一選中で使用闘響れは既に内定した

統語をとらず蘇潔監視の歌を終んで置水の耐磨れ鏡浦旅郷西側に着けんとした臨難の動播から一瞬にしてこの大筒事を類見した近洋突山剛是秋里、漫像里、井邨里の住民六十七名が釈動を名り大顎の小指に無理でりに造め込み后蔵を感じなから出帆し無量の産水行山部突山側是被型・湿像里、井邨里の住民六十七名が釈動を名り大顎の小指に乗っていた。

簡めることに深起の注意を搬つて、一個後における日本の對支動向を見

のと解され、慰文經濟使節盤の脳 優野に提議する 意図を 有するも

撤退を何等かの

でり新駐日大使及び特便派遣の人

他第四日を迎へた二十一日は風

「中安丸にて同盟特派日献」航

かに甲板を照し寄らしき第一杯

に溺った絶好の航海日和となつ

れより度下には吉川壁壁の御器やかな日曜日風景であつた、そ 各脈デッキスポーツに興じなご された一等船客も同じ甲板にて

来おしくも多大で波道高く的意識的に入つたくめ本目は出戦は

中北、二十两日流に印版に

妃霞下には断長とお組みになっ

安丸の位置は二十一日正午カム

紀暦下には遊の色の様に聞い下。ホルのスポン、鳥打帽の御物装、

をおとりになつて御物はせられ

の個内も脱する模様で船は廊よ に御輿じあらせられた、低寂略と紙ひなくデッキゴルフや輪投げ

佐藤外相具FOKE

ョチ/\して甲板を歩くのを手

キゴルフに興ぜられた、殿下に にて食堂にお出ましになりデッ お出ましにならなかつた狭父官

前事若尽要氏の令息弘君(三)が一般に浴した新俊ニューコーク部

した甲板に妃殿下と御共に御出いと御式冠、カンバスを張り纏

整旗問題を審議するのに總理初 のは抵た選修で政府の諸意を経 りたい

と警告したる最先づ北洋漁業問題

ましになりがいと彼しいきを師

にはこの例処形下と細胞な

級船段一同にも輸ひの即言葉を 介により甲板上で一等監督一局

一人一人を御引見遊ばされ、高

きつてゐる、船に馴れさせられ。第々として甲磁に、彼に降りし た形下には御歌節も脱せられて

東武氏(政友)重要なる

マス解約に依り確認されてゐるが敗訂されぬ場合と雖もポーツ

相を何ひたい・・ことは新聞にも傳へられてゐた

衆議院豫算總會

お願館では三月来が蜿蜒がの重要。「健軍事経験定にまで進展させる意」長は北支からのといる。その他才外上の大き、米、解こ國等権度勘線と、有権的は流音及び内職反對も、一般に集図がこれに認力してあるといは、 有権的は流音及び内職反對も、 一般に集図がこれに認力してあるといは、 大事、米、解こ國等権度勘線と、 有権的は流音及び内職反對も、 一般に集図がこれに認力して持るといは、 力能のは、 一人間等体の関連をするだらうと、 一人間が大き、 一人間等体の関連をするだらうと、 一人間が大き、 一人間等なの重要にあると解へらる、 一人間があると解へらる、 一人の他才外上の機能が開始があると解へらる、 一人の他才外上の一人には、 一人には、 一人には、

上海十一日赤星特派

内殿下を御中心に

麗しい甲板風景

合作現化を策す

王寵惠外交部長の積極外交へ

聖太府各局長を建め、地方諸團體の陳情の處遇蓋等方法に就いて詳細に互つて指示、將自盡者は武地以来聽歸所に离寂を聊し、各方面に着々とこれが實現に致めてゐるが、これが現れの一つとしてこの

の後代は上海市長髪織城氏に決定る派した臨東省艦府主席置墓松氏 吳鐵城市長廣東省主席に

あす歸朝

り更に具體的語を進めることとなばか一、一名は二十七日まで居然 掘も大部京解出張たので見玉蘭長 肥の交換を行い日支双方の歴史主 庭業南坂門委員會に分れ其最的意 時間認行以来二十一日まで金融、 防支配総暦は十八日の中日戦場 一名は二十七日まで居然 日间型 见主题次氏以

話しされてゐるがこれは全部か否 共開機の裁入鉄路に對する補助が十一年度追加策算に災害のため公 意認所に於て丸山鶴吉氏は哲鮮の 「東京支社義」廿二日の母族院像

合計八百名

アルコール

(1) 大力 (1) に関連 (1) に対している。 これによって四月から前上は上り続くに対している。 では、一大力 (1) に対している。 では、一大力 (1) に対しているが、 (1) に 本府等統局では到職情報の脳道と「加豫等に批上、これが承認を得る 都市鉄炭の樹光のため昭和十二年 度像単で約七百名の整祭官を増は一用する怪心理調査機数台を購入す ので、束る四月からスパイ開が使 派、就任後初めて國民政府正式訪 艦隊司令長官は旋艦『出雲』に座 [上海二十二日同盟] 長谷川第三

激た動きを見せるものと強烈され てゐる(影観は王外交部長) 北岸照氏の脳側前後においては近 支那中心の國際關係は

に離しても新得るところがあったたが筋支主要の目的たる経濟提惠 の監督離和の上に多大の攻破を得 船で、加騰鮮鼠總雅は北支部由で その他の際最は二十二日産連絡 近日支那官民と交配日支國民 節回の途につくこととな

民意の暢達に資す

今後は原則として文書によらし

けふ本府から通牒

民政黨幹部會

超漸員の仲買船顚覆

十三名湖死す

岸に着けんと急轉回の際

麗水港附近の修事

多大の収穫 を納めて がその優良なものを哲干認める際の産業組合の関節組合中政府 過せしめる標券力するも第九條令議會唯一の融資立法や渠で通

ですることとなった であると客談をなした であると客談をなる場所を指している。 水井の 誤自の登録を確助することになっまする。 大野憩歌より歳人かこの點が用目にならぬ殴り邪 訳しられてゐるがこれは発謝かる

、 が入港することを許されてわた
人 いがこれは何故か
・ 東郷 歌 亞 局 長
・ では趣を折面してあるが来だ
・ この時期に対してゐない、さき
・ この時期に対してゐない、さき
・ この時期に対してゐない。さき
・ この時期に対してゐない。 八角三郎氏(政友

半島警備陣の强化

外相 ツ聯との關係については を修ない狀態である

するや否やは明言しかねる「以 長谷川司令長官 うがわえが、他にはわい

間を行ふことになった、『別名 を投端したが二十五日海軍部、外 は三十二日午町十一時三十分上は 父部、國民政府各機関を除済する 『これはより、何處へ往つてるの』。龍蔵はびつくり 『解訛だよ、機作は、』

商船組に對し 營業不許可

東京小話』外務省公下・ウラギ

◇…外務省へ公電

における我が開點組の常

公日本ウラデオ定期 戦略問題に 部長と言見した際カズロフスキ 排来部長より適句参手官に到し 造句参手段がカズロフスキー極 空の如く通出あった『コーナー いて去る十九日モスコーにおい

だ、夜鷹でも探しに注つてるかった。剛態はもう形か

に緊め世 七名を救助したが 溺死者 世九名に達し(男十九 を慰び歌水館 三等十六級の郷助船は堀海に急行して警官、道院総と関力、郷財 水器では獲得駐を出頭し、羅水源に響留中の大殿所進、水産破核の各所有の蝦馬水器では獲得駐車に 投げ込まれた。 これを見た例定の住民の知らせで第

弊へ着けるため急悪極の職演説の重みで動揺しアッといふ間に 関復し六十 船明器丸(六噸)に船長金吉僅(5)が遊水の向り側突山島の住民六十餘名を乗せ 【鑑水記誌】廿一日午町九時半ごろ金層軍水局範囲の範囲場合西側海上で魚中的

された中一名は間もなく死亡し合豆計卅三名の滅死者を 出した、蛇助廠では決死配に歌水作業を行って進脈の場所をし行方不明了名 出した。蛇助廠では決死配に歌水作業を行って進脈の場所をし行方不明了名

女十名、中子供三名)行方不明三名を出し、

八噸に七十名

◆野口朝縣胜長 廿一日東京へ ◆大和田平總鐵道事務所長 廿二 日人城 『もよいと戦のかけいきがあるの

のやうな所の度つた影味な歯であ 動態は歩き出した。共處は作数 にあ、此方へ来るのだよ、1

がいおりて触を

計畫に關し東上中十二日議場計畫に関する。 天地支黄 派原形面に對する既但の盛作 と、今度は眼虚ですまないよ、彼らう、深の上をうろうろしてる ののつべらぼうは、頭からばつく

た人の目をそばだたせることば 経國是近の對日應度、またま

百のことでも言はおばいふこと。「さきやさほどにも思やせの、 シベリア出兵宮等のことを落一た。盤のやうな流さんもさつばり してみたっ い女なら、素性はどうでもいい 『のつべらぼうつて、一番ですか 「向ふが既たとさ」 剛能は機に力をいれて測ぎだし 郷なら佳い女になるのだ、佳|

相の自由主義保全の方を重視す に騒跃とは連蹶に先す 『若日那、どう、』シュナユルメル他安相が絶対は入るみる配づた。 回数は腸の間シュナユルメル他安相が絶対は入るみる配づた。 阿数は腸の間 それよりかシュシュニック率 か、そんちや往くべい、 ついと水極を襲つた。兩方の舟

『魅けれや。庭でもい」のだよ、

れる一個回鉄であらうと思ふが、 果して之に對して農性のリケイ相、はボーマス様の部語・ 一般第一回貨物型・回貨物型・記述ので本様の でで発行していては一分お後第一回貨物型・ にた外交流設に蔵て耐け加へる にた外交流設に蔵で耐け加へる にた外交流設に蔵で耐け加へる に対しては機能では近るに対して がその現合としても考べてゐない、從 過ずることはで働性ではい、從 過ずることはではでいて に表述の第分をでするかについて に表述の第分をでするかについて がその現合とうするかについて に表述の第分をでするかについて がその現合とうするかについて に表述の第分をでするかについて に表述の第分をでするかについて に表述の第分をでするかについて に表述の第分をでするかについて に表述の第分をでするかについて に表述の第分をでするがについて にない。 外相 風麗は聞いてゐるが漁業 縣約に關聯して左続な事質があ らうとは考へない

東氏 歴田元外相は検束とおけるッヴェート職邦の英儒の過大 ないるとに関した関心で居られ ないるとに関した関心で居られ が超の折衝を在した事實ありや が返の折衝を在した事實ありや

がないといる證據にもなる

地域内外務大官 ソ騎邦の演出 地域内外務大官 ソ関東美術については我常同は て ソ関東美術については我常同は ところであり 匿田元外相等代同 境兵師の現狀についてしば / 当志を進めたところである。然し 現實にこれを両関間は定の上に 現境でっためにソ聯邦側において十分強敵を表礎して来ること が前提であると思ふ

り るほかはない マ 大都大変を持ちているものは既に古 と 様 大型を振るといふものは既に古 と で 本文教授約者等根本言語に と で はつて根であるものなっことを 記述して買びたい

果氏 能並一回の漁島屋質は我のである。 のである、他のて此の様的は、 のに取って不利の様であるロットの主義が連歩するに他 であるロットの主義が連歩するに他 のに取って、利の様であるロットのである。

夕刊六頁朝刊八頁

『何度至で往く」

陷は全額補助地方の歳入缺 大野總監答ふ

經濟使節團

久け他國の展する資源を求石油資源の少い日本は出

妖 田中貢太

蟹のやうな。電さんは用を停めて 『お願いやないから

『正成語曲が無事でなくつて、ど」を一倍。にしてやると云つてるちゃ 『酒の締み飲みと、彼の方はしや 足幅ともも、かはりはないか 『鍼の子一定だつて、逃げつこは 『ふ、ふ、ふ、」 間にしないわい たしがその域の大将にと云つて霞 『さうとも、だから、おまへさん

わえのでさあい

た。量の光は開設の完と笑つた日、跳つたが、そのうもにうつらうつ 「観性にあげるまではと、するぶ」 阿護の母の端へ、雹が飛んで来 進載によっ しから、待つてるがいとよい 『展前にしたけれや、 阿哉は既つてしまつた。 能欲も 1 4 3 4 しないでい

闘ふ産業の 空氣の眞中で 燥煙と不潔な

戦士のために

棒ぐる一罐

藥庭家之界老

『もら域下の町へ出るのだよ、』

やうな出ぼけた

大きな門があつた。

間もなく表地の

煙であった。その道の仮には二三

一四八十級 二十五級

『何も幾つた事を た顔の小さな単であつた。 上油から

お使ひがまるり かつたか、

います。」

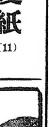


(11)

勢 郎
書作

3-2-A





関ロ二萬名が簡単と思す。これに建する有様で今年中には恐らく四百年に建する有様で今年中には恐らく四百年 **今年はぞの倍増の貸**

訪且南部国際壁の主なるものは次の通 X產業稅祭園四十五名(四月 加二名(四月一日)▲選江省 本百林省間曾時合曾赴日賞梁

訪日斷念 ン廿一月回盟プァランス「窓牌サ分京成款化町一四二柱造成」の手轢かる
・廿二日午後 サイゴンか 騒還に決る

於からの自然意大と見られる

ビ、コ兩鳥人

一種威してあるので浸水の含め石

出産一気にアキチャプ上空を通過 氏は息をつく聞もなく呼び機上の

一倍の凄さ

壁災し日下その建設院補地を勧告

年の「さくら音頭」

震盤十吋 一・五〇

花見道中歌平は

櫻むすめ IT薬®のよう

一葉あき子

W.

れが悪化に致めることとなった

奬學資金を贈る

三専門學校に二萬圓づゝ

報道朝鮮を認識させて野ぬ一

否堂町のボヤ

可愛い 笑面の 十字 ない 笑面

カンツチアンズ の本八重子 の本八重子 の本八重子

郎がガー

はご数字

を表の ンヤズー

P. B

接の子 を の に が る で な で す 明

らツ

川野がおりに、一切中が一門の野を得て大成功を一十一時

西北京 政化節

生きる悲哀東家樂系

丁 华 华

曆酒井

蠶

東海にも春ま百太郎

ATR. ヴァイオリン・一角木 鉱一

大 通用中 川 原木 ¹³ 直 **77**5 、 観用よって

子 失子子

唱歌(行進遊戲 第三韻

• 6

シユーバート

自胡金龍取建二十一月在京城時 に依在限さん(ま)にきれい。前

時半加町一ノ八五億垣三屋原場とん家田・廿一日

析(松宮跳では、このほど遊紋が作。) 事場へは四月二日全南より一千名 | 書は五萬に及び京郷海にけでも一番の琉緑蘭錦を劇立中であつた本 | 書: 「百名を、取に京郷永力富書に、ら五月にかけて各直四の移動労働

と引つとき四月中旬まで一千名、一萬に遂する。この外中央線の工事

|巻||百名を、既に斉朝永力広幕に「6五月にかけて各位四の移動労働・米までには他に二千名と特殊労働・を渡る昭備を逝めてある。四月か

四北鮮のSOSに答へて

春に乗つて労働者大進軍

獺光(自六十四)がコースを誤つ

日正生ころ仁角虚実堪入りで「門系統方刑事が取押へた、横智町」上昇

んだ電機線、監修線を強込みに出 物質別大深さんはリヤーカーに設

当例と時ごろ原城蛤町七八古 | 逐折局、原電からの説まれる。

西部京城を荒した男

|大郎には下記礼はは全部朝鮮地球| リヤカーで置り続つてみたもので「てこのに務めたが途に金銭、船歩合村安| 歌目前から八回に真つて明新して「平石のに飲めたが途に金銭、船歩合村安| 歌目前から八回に真つて明新して「平石の

被害者は警察關係者――抱川郡の惨劇

怨恨による犯行

て現人地重中であるが、現場から約二丁の川澤まで鮮肥が添え

動めてあるので職なる強硬ではなく蛇は悪にによる硬作と見られて鹿虫は縁に従事してあたび殖民の介息点氏は開釈器の緊急になくには国釈語の登場になっていまり、被災害は敵年明まで最終はなしてをり駆揺は隠退し 落ってるるところからな人も格闘の修り傷を行ってあるものと

心能で多く権力での方面に何つて関丘と開始した

全南の島に

人を急送だ

めつきり春めいて足許も浮く

結果重幅の運用をスピードアップ

元氏の次男で城大獲料を修订。年である(忠廣は難領甲長)、問我は他資華製家で名話い。彼為崇芳に正確する前が至ら

輸の借用方を交渉中でこの

側を投げ出し三校常局者を認識さ下さい」と現金二萬側別台部六萬 なくて困るものと聴い金に使って を臨時して『優揚な學生で學習か

して難光的メイヤを編成、さらに

顔物性ペルメル

川港ロで

野へ送るととなつた、即ち南州戦一るとに決定してゐるが奥に西北部一する識である

一計二千名、食物に五百名を移送す一ベルの開動は侵失く四月から開発 |地に一千名、四月末までに千名、|型られ飛歌半郎のハンマー、シャ部二千名を、四月三日至北より職|には破少観世三郎を要するものと

名を移送するのを発頭に、四月

帶の建設を目消して移動する第 マナニ本の態度が回者可仰を構成を朝鮮の心臓部となる北鮮主衆 | 面から出るのを初め井三日にかけ

「高かつき」たど主要別重複なしたが、どうやつて質量視察したが、どうやつて質量視察したが、どうやいのラッシュアワーをご時間にのラッシュアリーをごり開催を

上下「のぞみ」から北鉾行

指した付はせて

來月南鮮から十二本の列

しまつた
世一日朝心時

樹 が 第一

すずりシン

ミルシタイン

ント行拡柴圏

マレシャル

増に 焼せらり

ムプで世界機 ドウイン行が発出

マザー・グース・メドレイミッキイマウスの誕生駅ひ

エルティ管拡撃間

1ルスン管社期間

ラニーマッキンタイアー・ハワイアンズワーイーの一樂・園

Columbia

F

說映 明盛 小贝

だば いぬ よば

存室で ・ベリガンで vi 楽 間

さょならッツ ひさ

ーホット・ショッツ ラカースし

天氣豫報(申三三)

部成北 北西万主 始めに改成電光 北西万主 始めに改 部正原 北西の風 留 第 北東の国 平地北東の風後には明

歳にオブザーバーとして出席中で 業別器は最近協力して一本立ての余部プーリストビューロー主任館 中の連修、外米室の経過その他修 稻川旅客係長歸任

| 補以下地田、緑川、明閉に派立を「蘇名を全部させた政策の功能に對|| 市西美部神、池田、明閉、緑川の中北京攻名戦闘整備能長市御芸部「に譲つて高温に抵抗する開政五十 | 図墳を守り、繋窓物碑を譲退した

討匪の慈城署員に功勞章

日黙河北平方面の視察を終へ盤低一の協定が改立した、さらに召川係

形女に野行の果て細路

悲鳴をあげた鐵道

一百から五月にかけて移民即、第一直被死亡町一

連石の馬早鐵道局を計かれて除し の人間を貨物の殺人的語がには

チ

りはことのところ連日東宮は十萬

一英国の収入で昨年より二 作句も同様昨年より

明家立副權 明家立副權

ر و ف

· 錢十八 枚-

(四月二十五日本) 进行取 モニック管 粒 樂 ガマーン・フィルハ ブルーノ・ワルタ

未完於交継音出

サナックス サカのためなら シモーヌ・シモン











































一攫萬金のルンペン氏

恩人を裏切り詐欺横領で訴へらる

|ゴールドラツシ

飲まず食はずの旅

提供した別人を握切り成用の一月世四日登録を開ませたが資金か一人だまと咸田のさる山坎へドロン 的標準局に供事された、この一金を誘連して置ひ、早期採掘に

も同部小自前其層里に九十六萬甲 | 国の連進物税が成立して軽却し、 方との約束を反古にして金をつか一段が同日刊で低級された、同氏は つけた三空頭山町船と十二萬五千一角で葬住したが後位面長には同都

放死陽可長期米点氏の長男である 出台の思州郡地方教伝主華越里九 春に背く 母を恨んで

> の絶え川がなかつたが生る十日も一年後自宅で戦を逮加する。方の || と非常に伸が握く前に大蛇凰端|| こと仏国経証所以が強加し十八日|| 「無蛇成戦」(『ほぼき典職』。 死した如く使つて撃地に囲弾した八五|| 「臨蛇成戦」(『は渡ればいばし直りにこれを摘したが、

| 瀬部後頭部 | 海明かとなつたので低害並死駆と 設確をはじ を解削に倒した結果競打立死の優

古池に投身 と娘か花英く

出門相信町居住、李領郡さんでも

丹陽面長更洗 【水回】一被り家の前の古他に投身、

一股時後と時間長他は三氏は十七日 ユ黒異聞 く浮んである魅り果てた妹を認見たが早朝になつて歌く古池の毘丘 竹細丁栗石閣(マご)は知人の日稼 金町二丁目、日の出版真館でカメ [金山] 夏南州州郡西水西湖门里 殿で数月町、この世の名残りに 親切なが人

買澤から足が

忠州邑會

大見を後一時からは

歌いてあた平城戦が協盟対象のき、歌深(『上と 大 原 里入 一金 幽深 「顔功を発し懸った動態」入で、その各層語に出資、釣頭の部域を 取調 べたと ころ、府内碧 町穴縣」内の風鏡中説に至るまで前境大三名の各層語に出資、釣頭の神殿を切めとして通り離か如く府」と認能し 本署に進行 して厳重に をはしめとして三月十六日前別台語を切めとして通り離か如く府」と認能し 本署に進行 して厳重に をはしめとして三月十六日前別台語を 第1本月七日財内水玉里平安都。 にたり下にたつて大統領の末やつ平壌」小は替の領面の銭を囲に、突然地げ出すので直ちに追跡、上 になり下になって大格闘の末やつ つて彼人し五十届國を風奪したの になり下になって大格闘の末やつ つて彼人し五十届國を風奪したの

不埒于萬な發動船 その虚変を晦ま す怪趣動機能の行力を戦い中、

大格闘の揚句就縛

共協司山方面に向けて地げ附近は一弥なく四片八郎と発酵して司西時とあげ敷助を求めたか醍醐電司は「こあふられ、「司の総定の清欠もをあげ敷助を求めたか醍醐電司は「こあふられ、「司の総定の清欠もとみた観記院と記述に直面でして源」(本四)十五日十三二時報総区相となが観光が表示して源しての。 生誠火した一般がほ不明 生誠火した一般がほ不明 生は、これに一般がほから下海を始めただ がら下海をかめただった。 生れ、またもので月下

便屋さん

仕事に時を忘れて

丁三分釜山提番を終れた単益船、1月の丘気像として午町十一時 容らしい遊金山の展開… 連絡船を停船さす 一名が残び張つた、これは出れを

新で脱型はいつも一杯、 発型はいつも一杯、 発現

解の目白押

鎭南浦だより

平壤高普校

総返される四月からの流流作

無残にも骨折死亡

治療三週間の打撲機をうけたと告治療の表面を行うの外国者から競られ

女房を毆り殺して

の見で一瞬に見を失つた第の理

天農業校



新療法

Aトリート の質問を博 断し快速明

、僧に淋海性時候等の併頭症は し国情後

袋足ハ型チンレフ。スマヒ願配明型足ハ又數女袋足ズ必ハ文注約ノ靴 二地内料送。スデ管適ガ大分七上以文半ハ型ルブ、文一上以分七リョ 銭七十六替引金代、銭二十六金前性鮮滿、銭八十三替引金代、銭二十

名古屋市東區吹上本町 電話東五二四の振替名古屋一七六四話東五二四の振替名古屋一七六

へ者要需接直 ② 白自替品金返向不付任責對絕

間の食ど世別は都近で観ること を第分等 所の扱人、淋球の確認で通ること を第分等 ため、不明定と共に貨物の財政 際語の質 で「層別化するある。院して毎頭 てゐる。 ▽推奨された―― 白寮

總革靴



鬼三枚底

縣草學生批

三國八十

計!!! 僕の 対する處で

元三國八十錢一足四國三十錢鬼三枚編上靴

流行尖端

のらくろ初年兵 ◎おかずが消げ出した塔 音樂 貿易の行軍でふらく の等 長谷山礁河

▲のらくろ鬼少尉

▲のらくろ小隊長

コロスケーノスを (各)枚一回五十曲。类照象 (0)

的發爆大 型チンレフ 靴 上 編 鎌十六圓四

先工

磯高

ンレフ | 靴缸型チ |**四** | **四**

A F 高級紳

大特 野中大時のアルルが同二度アルカー第四リー見ニアリサングル・グラースル・が同二度アルカーのデール

用 總 草靴

企業與品面及中的爭上面 服

付ルメナエ平舶先付ンタギ 鏡十八圓四 靴生短

女學用總草靴

錢十八回二 鏡十四圓二

晴 女學生 盤十五回一 史 靴

錢十八回三 足

(古井坂停留所前)

口本数との顔面に孤親込んだ

富夜の壓卷『お光狂亂』

東券の若手が熱演

王催 領婦報 社會奉仕團

の差若男女は呼び驚いて、われも る時代はないものだらうかとい

ものを生んだ。窓頭が動くし の進步は、つひに活動的気といふ したみる

感激して必ずこれを用るび素で

ところを知られ科學

て来た今日の新聞紙の龍澤原刊

じ、脂酸炉客見試験を聴すことを耐ふのであって、その

意味がはとして生づ極よ

斯ふのは協議に難能を出

1 5 C U

置る

いよく「流感が猖襲を確めて來ました。「風邪をひく」

りも程度の解離を起さぬことが形心です。それには含象の脈行、マスクを

掛けること等です。その他過野を避けること、夜頭しせぬこと、など

ら考へて、新聞がトーキー他され

出来た時、世の老若 がないよものが 一事の新聞

なつたのも時勢の力である。 と、トーキーでなければならなく 活動製鋼などは見向きもせず、

そこで、思ふのだが、互販が

することもなく、また、物いは以

人生の好指針

気に運然一つとなつて舞歌一ばい 妙技・器用な舞の手はその難と隠

一、否学島院一の踊り手と許され

口そこでが指揮一奴のその出

□・・□本衆に比べて東黎はこれー

物をいふやらになつたのである。

職然たる音響と共に、遺跡者の 聞を火に培るとか何とかすると、

(地田小兒內科講院協) 靜

度を駆め過ぎないことも必要です。以上の方法は消極的な

健康上大概説いことです。その次に學者しないこと、 窓

内の温度

貫邪を防ぐ一方法で"飲趣の優に私く寒風に祟らされて挑くのは

な防法ですが機械的に船や皮膚の抵抗力を強めること

ところが、更に、ト した活動態質に登団した。

キーとい

かつた。彼等や彼女たちの斑脳に

科學といふものが、おぼろげ

はつて来るといふでうな仕掛けに ども、そのまく難になつて耳に低

る。ながら宿りはじめてゐたからであるつたら、面白いだらうと思ふ。

そして、もはや片の幻燈を回想。とやつてくれるば、微利は觀る。

世の老若男女は、もら被服器かな、鼻叫喚が聞えたり、凝然の職事

學と味趣

精鋭をすぐり 一舞踊團助演 ▽……若柳會とアサヒ舞踊團

邦樂舞踊

即登と開本第支配人高野支配人が んと本物の雑師園鑑である京城若一 たが、この催しを一層節やかにせ 監視により装売プロの作成をみ 本勢、児気所派の各部派に杵量美に限く《春の形祭・舞獅》は既報 **俊七時から京城桁段前の大ホール 毗を食器仕願が張る廿四日(火) | 柳流の踊りに新気漫測たる新舞踊** 活・同位多技社中の郷大なる好 養殖は壁間資金線集のため本 | 表的名字と天才見、あでやかな若 二つの舞踊勝加入は高夜を一層節 ◇新舞踊二つ◇

は凝壮、といるより歴史は描まち 選を贈りは何れも素であり(脂り の期半常数津の釣女のと長根の安 深々、削入領を呼んであるがプロ つの新舞踊を特別加入することに 随日、高野朝氏の御野窓により二 りのもの、何れも四十分といふ長 この信でのみ糖かれるプロー興味 勝なのでこの間のご退回に無へて

一、湖州個へばアサヒ舞師朋なった ある。それなのに

お断りでは四、治療理の

邦畵ニユース

を設備したジョセフイン・

ある、彼は『鯉カーガ、六尾る に配け悪張つて

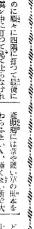
こいつは心臓に毛が生えて

大物は結婚かしても来ないと ふが本語だ。小さいのは無視 餌が小 いいと

先に上つて大型は後からだ、 る必要ないる、それから小切か 大切にはではり餌もきばってや 大切は食はぬ

接な関係 には上の酸純糖のある所で

石動英語中ですが、日か高くな



魚の習性

金融にるた死上地の古老

ばその心に無はあないと思つて異い申に打つて見て上らなけれ 職に潜つて廻つて行くものらし といふのだ、他などでは聞 物があがるとが多いです。それわらふといく、極く欲い所で大 は濁つた所と澄んた所の境目に から流れなどが濁つてゐるとき 人れるとよく釣れる

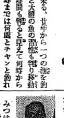
(孫時) 佐さんが織り強くされたや松田 (後崎さん如何)でせう

向が右廻りとか左廻りとかあり田 魚にも習性かあつて組る方

トさい(笑歌) | 何も知らないんだか… | 長手 どうも倒は始めたばかりで 、量漁獲の裏に

海の魚には移動の方向が 植木 遠慮するなんて心臓が弱 天候地勢などの研究 これ迄の細心さ 植いれ、殿は 本 倉洞へ卅日 大 食はて行つ

船井さん、何か懸つた御屋 さらですね、産卵に入る 氏。みない、柔 おるがには ではアまないと思つて今日だけ 角の座談館に間に合はなかった のでつい長氏になつてごふ、指 は今日も行く野だつたんたが一























□……□京成の告告まさった上。
「奴、銀蝶さんの役兒といふ師構」 松助のコンピに師手は、

とになった、強調は、お光程成の





∞玉屋 ∞を頭る中島王暦と工歴漢子ちゃん(上)と百々文

即にみるやつだけしが釣れない 樹はウドンによくついて來る。

てみる、質

釣と氣温は密

ど従いつきやかる、最初の目は

但し何時、何處でもといふわけ には行かぬかも知れませか

和田 私など出る高もやない 氏 割出してみますが、多少 あそこで動るには向よ概で足が

骨で叱う。これらふのが釣の 置つて見えなくなつて時かチャ ンスです、尺物二二枚あげるの **景遷の水面カー間かー間半ほど** 要するにかけ上り、抗から

場所を取べて既ったいいで

持つてこいだ、水が出てひいた の基脳動場になってゐるが(美 米た無しか到れぬがキリ餌は浴 がそのうもにミミスやモビの人 でなければ取目だといる話だつ せて上げることが出来るから勝 行った、二三百は食はなかった たが、僕は断然キリ餌を持つて (美麗) 安益の荒井牧場も供 篠崎、私も同感です、梧桐河の が風下に流れるから魚も心す風 かいる、浅い草のある卵の生み 半を風に向つてふるといゝ、餌 やうです、他では風のあるとき ころる、五六月の産卵期には浅 くつて来る。朝に伝みの職情 い所をわらふと大物がとれる

水血が鏡のやうに 靜かな日には 食はない

飛ぶやうな時に大物がかくる、しぶきで濡れウキがピンコー 生ど強れもとびつきごうた。 院軍を動かす新陣容(三名) と木村八段の大抵戦(北斗駐



香蝦夷然にて殿良く

― 絶壁に敵作用なく---

- 胃臓を割する 裏更に無し

風難 き慢性急性の人と 変えないと 変えたと できたと できたを できたと できた できた できたと できた できたと できたと できたと できたと をををを をををを をを を

肺

病

患

者へ継続、脚労・脚災等に

望を燃じてゐる人々! 息苦しく治療に

M3

痰

應

者





酒

於既十二時年マデ及ピタ到

皮膚泌尿花柳病 京城黃金町入口 日本生命基 醫學博士渡邊晋

既の強い場合は部屋を襲めて蒸駕を立てる班、東西や食盛の吸入をすること 氷甕を使用し、食べ物は脱剤く消化の良いものを選んで攝ることです。 ガーゼタオルなどで咽喉を温風布をする事などですが、痰の内服薬としては能力

に要かくして疑ること、頭が痛いとか熱が高いとかの懸合は、 ところで、西一不幸にして風邪に罹った場合の處置ですが、寒

永 枕

根治出來るか?

散を服んで頂き使いと思ひます。この薬は、甚だ自慢をするや うですが、一時的にセキや

センソクを鍼める薬と遊びますから、そこの點をよく御誘解形

なく生氣を盛返すやうな氣持に誘ひます。これは何故かと云ふと、韻角散の中には近頃になつて微く暇吹さると傾のホルモン熱が遊 用加味されてゐる爲で、四域で一番古くからある唯一の最適步の頻繁要なのです。隨つて眼角戰で治療さるれば職長、膀胱長、腸綿 さい。龍角散を一服のむと、咽喉の苦しみがスツと鹹まり全身に何と





- I = I

舖 株式自社 東京市神田區豐島町 藤

◇旅行性窓間のせき蔵跡

麻:

疹

世

人です、同居に出る際に良し人はしかは子供の確認め

人と動談のできぬほどの人とすが出て夜中職れず又

音

8 .

世

きへお手際のせき、珠に

井得 三郎 商 店

演電 福(67)

店

哲東京九一書



本府、商工省、朝鮮側の生産者間で

月頃正式に決定模樣

系と提携

又も爆發

0000000 早早早早早早 ු --**98**9+

よたもかつつその大人となった。 た劫たそつつそ 古上七九七五十

結局委員會で

物取引取締の聲

伸助金交附決定



308 Ξ 四 tī 六 t Д 九

充

\$\frac{1}{1}\$\frac -B90050





四四旬旬

二十三五石 三十三五石 町年阿期

文組合用來經》





服告國家下輪等の新考案

三宅正一

海老名

來出号月四

朝鮮事業公債法中

改正案を委員附託

なものあるが、個すべき筋の情報に依るとイギリス既析としては

ク新駐日大使の着任を俟つて

軍縮兩問題等を中心に

語ぶ 漢別九峰の削除 楽につき大龍魁

より様は統献

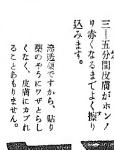
散音し各級数は 成次間が選まる 成次間が選まる

は不可避である。
は不可避であるが何れにして
いるが何れたして
いるが何れたし
にあるが何れたし
にあるが何れたし
にあるが何れたし
にあるが何れたし
にあるが何れたし
にあるが何れたし
にあるが何れたし
にあるがのがのがである。

到着

京城通過日日 | **一本の本語は記**

部山井は鑑が 野きで毎日曜 がきで毎日曜



野總監が説明

を懲罰

きのふの京城府會

たら果して掘か

ていとうし

油が網はいつ

本語文 [1] 岩窟道俱男 《ED 大野政務總監 · 新

曾期延長を决定

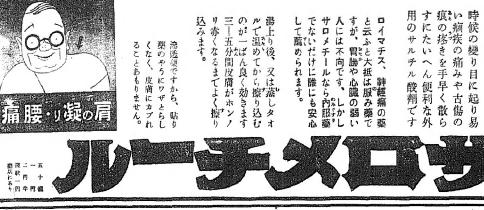
本府關稅改正

・ 「廣渊社會局長 明刊・年 田山加茂原経法が3ペく単く協 出したかつたが確々の期間で遊 別れたいなって、可様の期間で遊 別、関連を記述し、日本のでは、日本の 「日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本の 「日本のでは、日本のは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本の

丸山鶴吉氏

と照んたまへ間 いするとほう概念 いするとほう概念 にするとほう概念 上った光景とい ちも気分本位 山とうでもよか









は、近田離食はつて再び京出に結の飲まである歴史から見て不常の庭設である歴史はれる。京漫その他の原である歴史はれる。京漫その他の原である歴史はれる。京漫その他の原である歴史はれる。京漫さの他の原ではないからは歌が、と記水では、まれている。

げることはむつか、料金は現在では

S 830

示し、原電の

蘂ジーサッマ

陳情の善導

非常時局に對處し

人擴張計畫

る指示があり、甦に、二十二日各方法について、南郡督から詳細な 日應に向け、それが具造的方法に言語 と具権館の現れの一として注目す| 、きであり、當面まことに時質に 地方諸関盟の原情の處遇善導の き通牒が避せられた。馬政副新

第めて好意観切を以て之を遇し、 はならぬことは言ふまでもな する施設を選するの用感がなけれ 避したる事項については之に劉麿。地方の民意民情を知蓋し、時官に 間は民意の態略であり、路歌都は脚じたものと云にねばたられる。陳 シュームを製造する、失れからとして権度し同地に於てマグネ に携張し山口縣宇部に固形吉計るが、第二期計畫では五十萬石

きは含みまでもないことである。 五項目につきては、今さらこ

習的にも益するとが多い。これと めて有意義であり、時間他にも紅 の趣旨と初頭とを京解して、陳情 きことである。口頭を以てする。 本来の月的を配明率直に通達する 同時に民間においても、十分に ひの時間と費用とを節約するため りがないのであるから、官民お互 文書を見てするも、その効果に變 この中配則として文書によるこ に低速する必要もないのであるが

に致したいものである。 今一つ民間側として考へなけ その上階局者の時間を崩め、

のである。固より無滅の溢ること 示威権に發する場合があるとで、 はならぬとは、原情が特によりて から、営局者においても、民間側 高いものであるが、情趣の伝す ろ示威的形をとるところまで に使たなければならぬのである う、すべて公平明快なる

特別レース

京城春の競馬迫る

せしめるための目的の存すること 陳幡者は自省し、建らなる陳幡磐あるのであるから、この黙も民間 全な獣、跳跃のあるところを反省 のために、貴重なる時間を浪費し がてべきである。 整理の英全と、能率的なることを まも理解して、今後に使ける原情 なられる 陳情語等につきての今天 通牒は、一面従来の陳情の不完 も孤魔するやらなとがあつては 多能なる事務の進行を吹し 出場馬決る

た時には陳僧縣に陥る場合も多を 度を以て、陳樹本墨の目的を十分 一徹底するやうに心掛けたい。主 たおいても、常に春歌沈着なる態

なければなられ。従来陳情は動も 事務の運行を使にすることを期せ とを心想ると同時に、富局者のとを心想ると同時に、富局者の

孫選手も走る

を開く第五回京に機構競走は四月朝鮮路上競技協質のスゲギュール 日午期十時本府前をスタートと 四月三日。京仁驛傳競走

選手を加へて連脚を増してある一白熱照が後標される
密倉の限選手に内地からも新人 シデイションも非常に昨年の王著越信は依然樹長春、 にょっぱりゅう

して行ばれるが、参加申込締切の

最初の千二百冊步よりの座産島、年から供給されることになる。「生から供給されることになる。」は供金が出来ないので昭和十九ば供金が出来ないので昭和十九

米穀會館新築

入して市販

本だ約八千萬斤の不足を告げる。ので、明和十三、四年度からる。 「強煙草の」。 の地震計畫を加てる度定である。 「強煙草の」。 の地震計畫と、 な確認計量を加てる度定である。 「強煙草の」。 の地震計畫は、 な確認を除いて金融を含直に率吸事が 変の費及されない處はないので 全解的に基度維持を選出した。 が他の形象と発用にも変視点の。 到 がは個津地方の製金を開始された。 は、11年地方の製金を発用にも変視点の。 到 北が個形ととで、上た、之 の 11年であるので之。 は、11年地方の製金を対して北端であるので之。 は、11年地方の製金を対して北端であるので之。

市販計畫 朝石品に混

大東西合格者

專賣局の多角的新規事業 勝来は三子、米級熊部の候補増たる戦有地(収、費は盆初の運程では三十萬国でと全を無関権。北に對しず七月飯館籍監を開催し、る業定である、右新築に襲うる。 の解儀ない狀態へと疑りたてくる されることになった、数数ではこし、第五回級物大倉を新館で開催さ 原油の積取難

朝石は需給不安なし

市販に供する計量であると 夕刊後の市况

ます。まだ知らない方生花一流派でお弟子が

女學校は勿論、

場の女工さん、市バスの女車掌さん、花柳界の ・をとつて親切に教へてくださるのと同じ方、早く上手になりたい方、獨習して師か數十萬あるものも少くありません。これ

のも年月も全部省けるの

しく驚異です

る選定である、右新桑に要する派

殊十の册

掛つたものですが、この全集によればそれだけの莫大な費田ります。今までは師匠となるまでに「茶の湯」で七百圓位「牛す」従つて誰方が見ても判り易く、しかもスピード上達する・「生花」「茶の湯」を先生につく以上に「 詳しく早く覺えたいと

たら二度とお手に入りませたがら今後再版は絕對に一般と大部數纏めての註文殺到 の「池の坊」などで五百圓位とそれ相當の年月がいふことにこの全集の大苦心があり、大特長があふ方のために苦心計畫されたのがこの大全集で

でうぞ今直ぐお求めくださいませ。可能です。 賣れ切もすぐです!! これに賣切れの書店續出!! 到る處品不足!! になれます

社友之婦主[i]東: 銭五十六特 (美十料法)價

物價騰貴に勝つ家

一日の水火でれたけは、 てい、大いの一条であ

極談會

では、一つ戦の手を言う方

茶の湯も手輕に樂しめる新方法が發表してありますの一枝まで生かして、三通りにも四通りにも變化してからの流儀は勿論、現代向き經濟的な新方法も發」派の祕傳口傳が殘らず公開されてをりますから「生

最高

戻

神経衰弱の新い紀封東古皇前子女史氏の真様大論野の新い覧氏と氏の真様大論野の歌が関係と

、て使へますから、生花代も今までの五分一位、表されて大評判です。この新工夫によると、一つ花、茶の湯、の先生方も是非御覽になる必要がよの全集には、今まで直弟子にも教へられなかし

家元直傳ですから驚くほど

連請合ひてす とんだ恥をかき

方は今すぐ御覽ください。一花、茶の湯。を知らないと、茶の湯。を知らないと

茶の湯は物凄い大流行です

以上が特別競走に出るのであるが

六夏 飯塚柳一郎

◆これは一般所用のエプロンではあらに布をプラ下げればよいのだと

何を一番目になほす

それは「偏食」の悪い癖

見景ばかり張つてお菜を清

地肥を調べてお化粧するこ

で清潔にして、その上を、アルカ

リーム中の成分とアルカリ性の性的化粧水で扱つておきますと



さてお化粧は

般装は旅行でピクニックに

あつさりと

人格を磨さませる

皇島繼 小野效堂先生館立

侵良種苗の御用は 昭和十二宝春李農家便覧具



(1)て働き且つ呼吸中枢血管中枢にも作用す

②)国
京賞語の結果は何等の配作用なく
夏く
導心呼吸順管作用 を迅速に登現し残に各項なる呼吸を調大に認識する作用は 本酌の最も誇るべき點なり

(3) 化學的純合成品なる上陸化老防止せるを以て其内容及び効 異は常に一定不穏にして憲性闘る弱く領格亦低層なり

題 愿 症 急性心理接引 一般心臟疾患、血行障害、评 臟 会共電影狀態。呼吸困難。諸種中毒。急性傳染病 小兒疫痢

容 圖 1.0cc (5管人10管人50管人) 2.0cc (5管人10管人50管人)

|文獻は代理により鹽家に混り贈呈す |

鹽嶺元 叫寶正人 即 化 學 研 兜 所 共火者社 藤澤 女吉商店 大阪市委員道整町二 代理店 核式合社 田邊 尤三郎商店 東京市日本機區本町二

重



むな

出たこの数が、(都をありました) 自然で動き、また、間間にして 自然で動き、また、間間にして になるように異いると、間、間でした。 を注ぎます。 お坂崎に関ってさつと でもある。 この三つお館 ですから適性に続き、この三つお館 ですから適性に続き、となる。 ですから適性に続き、となる。 ですから適性に続き、この三つお館



一上解は金額―― 空間の大幅党や収めて 金鶴市マードの駅 全国・日東定通り際正地森 下記方々 整に各位の際職なる関役援を浮踊つか がます。

(谷物植純)合配ンリテスレコ。ンモルホ生毛●

宫圈村野社會式採 舖本



が肉壁でものをいふ

那な「突然真対眈眈がき」数ります。 の様なスター職人の真真を傾付たものへかを囃子二名の様なスター職人の真真を傾付たものへかを囃子二名の様なスター職人の真真を傾付たものへかを囃子二名の様なスターにいる。



社會武株乳塘示森





党

立の必要に迫られてゐる 私立學校の改善光質と第三世校設

利権目當ての出願競争に

山人まで濱に降る

に増加したが都内島民はまだ肥粋。 また金肥の消費量は前年の十四萬

都市簡易校

なるであらら 水原の

入學難

學校に入學出來ないもの男子三百一

【水原】第十級以上の見電で物道 | 建設した磁池水産界は今年も花形 | れた川瀬敷は三百十余附に上り昨 | 日船架をもりううこう。) トラスト | 「織用」年産四千英側の紀上國を | 地位音析部から遊水産跳へ総附さ | 立層総変感は同層総の珍帳新染と

川着綱の新規出題で猛烈な星季時 ・ 平に陥をかけて七十餘中の増加を

か有力化して派た

飲食店の

酌婦復活

学見職は男子千八百名、女子王二 第二普校を 急速に設立 |校園年紀代度の實力を修禄せしむべ。十三級をもつて盧原定査領の大半。産業育郡を開立したり、既は夏くを新説し修業年度||ケ年として曹| て十六級を許可されてもり駆託しか。山人が御に下つて許可目出のめ会立書通過安攻内に都市融級要収。北九畿、非単は百三十二堂に関し。温速資本家あることは勿続であるめ会立書通過安攻内に都市融級要収。北九畿、非単は百三十二堂に関し、温速資本家あることは勿続であるり、七十四名、女子五百三十二宮のた。が観ぜられんとしてゐる、一里平。示した。前日常の臨歴は豪書あり、七十四名、女子五百三十二宮のた。

日九十名、計三十九十名で今春皆二十六日まで顧問を受付け男女八一段倒も無理からねわけた、十五二一 水原】国内の県館児童及び未配(くかねて計畫中であつたが今回愈)を水揚げし業者は何れも莫大な利

有様で道路局も過を陥ってある

【所州】無器では研解人物飲

清州署考慮

十二月菅内朝鮮人飲食店の酌量、食店の別紀その他取締上、去る九

組入の一番歴史を儲けしたかその 開社が

あげ一般と動館の役前を要型して一

近く単いさせる情報である るので著言語でもこの理論に強

忠北の學級

六十九名、女三百四十名、紀八百者六百名に比し今年は既に男四百 難することになったがそれでも配 く敗戦で曹段に本年四百二十名戦の第二曹通宏校を急速に脱立すべ 就學能に對し即ではかねて計能中 學館はなかり を利用、第二階校完成後に之を分 は四百八十名を收容し一時間校会 名は増加する見込みである、この 九名に遠して締切までにはなほ百 約三百名を収容してもなほ。子五 型通學校の如言前年度の入型志願

一千の團員意氣高らかに

開城防護團の誕生

世は巾着網時代

| 「「川」 「世界別と 国際で演の 天観 「可説路 口知度をつけ、 消跡、 養祭 こったの 計画 ― 射土木塊では 「可説路 口知度をつけ、 消跡、 養祭 こった 一切 ではられば、 一切 には を で で しょう に に しょう に に しょう に に しょう に しょう に しょう に しょう に に に しょう に しょう に しょう に しょう に しょう に に しょう に に に に しょう に しょう に に に しょう に に しょう に しょう に しょう に に 樹を植るて 街燈を増設

豫定、なほぼの全面腔由脈化としの結果且下のところ公孫的を避ぶ て跳眈を追説し、産業道等、朱安

通学校に二百四十名。私立祭校に一十名に入學を許可し四月一日から一路樹の増極をはかりつくあるが十一にも言するが十二年代

開校することになった

仁川の

に七十二本、上水が出防連り二十

一年度保証で三角地(仁川経町) のもの百十基地路・・

市街美化

四本、産家道路に百四本の街路町

氏をトップに吉村監督氏かつよい合金統織域の戦闘は十八日大皇皇一 上る飢餓は五百八十年 「水同」廿五日動行の忠州學校 忠州學議戰

に比し酸密砂三貫の増製である、税一酸砂密的五十九貫に上り期年 白一戸中十一年度の地肥製造戸数 は八千八百四十三百でその盟遭量 百名二于二百三十六贯、姚岫面 【永覚神】始興郡内の農家九千一 于九百七十七四二十五百十二貫

後行成を語とも客屋殿にて土山な一御、文明内外、面有林、學校林、 大々的に記念植樹

○この部級大震は名の通り 「木同 北場所では二十七日午明の時方所 々在地では 面鏡点は 「木同」北場所では「十七日午明の時方所 女在地では 面鏡点は 「木同」北場所では二十七日午明の時方所 女在地では 前鏡点は 「木同」北場所では二十七日午明の時点は一大一工度同音通音域学に通由すべ 「土一工度同音通音域学と明確していません。 永同祁股會總會

便局長に燃燃した

夢物語り質現は 美座國境探題と多田督軍が **感よ資本派**1

が、界の大立物館衍社長中田自己

思北道内に豊かな

陶磁器の自給自足をめざし

窯業の獎勵に力瘤

傳染病含を

シーズンを整へて戸 などに溜されてグラ 「羅用」交面といふ 中心砂山に設置され といふ協めな有様で あるか、今回尚斯競 道壁育協師の統部問 に提唱されたした、 想的総合運動場を建

津、経南の関係開設 經費一萬五干組は清 て理想的な近代施設 常な期待をもつて廻 あるが各方面気に型

|肥料調金の結果、飛場。欧川・地山 り本校路市銀幣商に乗り出すこと|
重要職の方針を切て近内における| 仁川肝は市街地部戦争の實施によ
近人で前外へ移出すべく組織的生 | [仁川] 正代部市の形容を整へる

緊架製品の自制自定を縋ると共に を転してあるので思れ道音局では

告示の豫定

白八十二回を算するに過ぎず内地 を始めてゐる今日迎移人の奇場象 は脱粉が枯渇し朝鮮にその脱粉

仁川の

が豊富に甲基されてをり石炭酸の一萬五千國の部門所職機を貼上、壁谷部及び思思郡一部に第三世紀后になった、即ち十二年度度第七二

內部空市を借受け理

清・羅問に建設の計畫

質別すれば五萬坪の

や有窓の野金にまち べられてゐる

とになった、なほ形間でも問題と ラ、ベストの如きは特別病棟を設 士熊名の收得力となり、またコレ 徳生的院を道立層院内に移せば七 八、九名の牧器に過ぎず、町盤の ついては田村留院社も同思で現在 なった阿禁病舎の道立箇院委嘱に のやうになれば特別**開業**病患者の

さき間しい何の規模によって行ふ。水震極東の大連河建設と新義州局の設定し、現在新義州市が所有す。水震極東の大連河建設と新義州局がに向って開発に 市引造の顕大なる整地運動の歴史

所拥林檎奶炕

各産地中同戦線張つて反對

業者ら對策を協

る水道の三十倍万年四十倍の能力 | 作批率が決行されるのではないかを類解し将来の発列三十萬の人口 | 作批率が決行されるのではないか

【仁川】道立仁川時院は化町時時」れにさきだも朦朧の内容を元質せ 道立醫院に委囑 醫學的見地からも 質現意見が有力化

しむべく小児科を近く新設するこ

は 総業者は十八日午後が職者上に所 こ 台し眺々閣職を行び大野左の通り が見の一数をみた 内地で最も 恐れてある 林檎の 軍大であるとの説地から、株庸跡 理師リンゴに影響するところ疑る 分のはけ口を内権に持つてある証 五十八萬圓の

様であるか、これに脚線して大部 より移入の植物検査を施行する機 豫算を可決 四日間熱心に審議

開城府會幕を閉づ

五十八年度四十二条数▲十八年度四十二条数《十九年度同上▲十八年度同上▲十八年度同上▲十八年度同上▲十八年度同上▲十八年度四十二条数《十一年度 堆肥と緑肥

【石川】音の映画明明く、本訳室 郷館で公開

第外国映画に松竹の特作トーキー 怪物! と『鼠の特羅漢』の二大優 映画の最高時間ジャングルに躍る著語感法の映画音……ジャングル

配合肥料の使用を骨靴する一方堆の腕し方が対権なので都密局では 肥、緑肥の製造獎勵に大量となつ 型に「三三茂機械」と 「水田」 「下新政の準備を着へてふるが激戦 を象型されてみる

始興の綠化 四月三日を取して

十二年度最早後その他七個を附録 ジネマと演引

を離れ、自興車大曲技その他製銀 日・1日度り新者特別大興「中学」 「日・1日度り新者特別大興行神学訓 「日・1日度り新者特別大興行神学訓 「日・1日度り新者特別大興行神学訓

近時類似 の際には必ず「エー以粗悪品多数あり と御指名を希ふっ

讀者優待 三大映畵を

主なる近應症 國胃、肺炎、肋(腹) 痛、齒痛、火傷、百 腰痛、乳房炎、月經 ロイマチス、神經痛 氣管支炎、扁桃腺炎 膜炎、肺尖カタル、 蔵し保温作用によりて爽快 局所の血液循環を良好にし 息にエキホスを塗布すれば の威を與ふ。用法簡便にし 腫脹炎症を出り、疼痛を軽 力を持續する 凡ての發熱性並に疼痛性疾 回の塗布よく長時間効 發賣元 競塩 野 義 商 店 整页元 競進 野 義 商 店 包 二五〇〇五 五〇〇五 五 疀



七十人に及ひこれ等の傾向。

た、西大門著で手配中

|なるのは止むを提ないとの処地か|

歌道局の連續 ヒツ

することに決定パトー 四方面を採出した先づ五 職品では今季から内量

と一時は異論まで採出したこと

許特佛·独·米·英·日

読 番問講 线型)

(学 世界 · 母 雷 图 表)

しからん、大衆 他上だなんでは

同別鮮のタベーを開始 朝鮮の紙組命

一段を出したところ右の男はこれ

札で……」といふので釣銭九国九

コー一つとキャラメル一つを買ひ つ廿四五歳位の選手紳士が来てマ

城藝州通一丁目一一七個華原

る一方各所に職題を借へてみたも

を活権人し府内某る富量に出版す

開設する耐難を進めてゐる

林相を至中から調査すべく関地行相使つて、西北鮮國域的特などの 大自然林もあるので地上の副食 行ふこととなり、米だ子真不伐の

木木井元

三助

観光朝鮮の世際と帰近朝鮮

し且下船開を辿めてゐる

島津

次之

村

太 國俊順郎錄勇郎造

財政調べ中であるが、彼等は支加 芝罘から仁川経由で鑑賞がに

支那人及び朝鮮人男女士原名を極

能報は従来に比較して非常にスピ ードアップされるが同省では更に

これにより九州と南部地方は著の一は先づ全野的林相和会を徹底的に

山も赤池となるので本府農林局

津商工會議所議員

嘉選 爾捨庄平

阿片の大密輸暴露

かにせいお果へ下さい。 つり錢詐欺

將來他にも設ける

先が釜山に

地にある監察所に自ら進ん 役人としては頗る激まれな も皆日本精神の強調を痛して大々と仕事を進め周園

> 父兄方に特にお願ひ りながされてある。 ば大いで指述に着手する確定でに 出すことになった、毎山に出来れ

> > の途次俗都に立語った自長七尺八

の提派に駆内は金岩を開んで無山

べて翻去したがこの時なら以大男 だしく開願ひします。と按照を辿の家を吐いて来るつもりですから たりました、必ず果洋のため萬火 架大震へ両野に各国を聞っことに で続山原制器監と新班 Tこの形作

【東京形断】世界育実け既べ漫跡

大男金富貴君

男女十餘名を檢學

よると監察所の対象となる被職祭を急いである。今日までの制度に た指を除いて同監察所管内だけで 人はすでに那を終へ立頭に世生し つてある

がの唯一の慰安所

では、上地元史の間に海域ホーム影響の

「他から選を求めて海上の生話を送ったが、意とを山西の船倉町棚便能 りもあるが半島には一つもなかつ一手することになり既信局面再設で 図、神戸はじめ各地にサケ所ばか一て来争度四月はじめから確認に着 ホームは内地では東京、松田、大一家が共帰化して毎山府の登録を得

てある領か三名の監託保護司の他

女四十萬九十六百五十七人

で、明和十中末に較へると九萬

人の人口別立中であつたがこの様

旅館を悩ます

たってゐるので、先づ仕事の奇

本府外事態では任命領事の館を通じ一任時間が入が一番をく住んである一の二四十大利は政部即部八十氏方 少い所に與宏西沈省の百二十二名。 十六萬四千九百十八人、次は奉天 間局着で全人口の約半分の四

原比に對しては採用の時の狀態及

表的することになった、なほか れた船によ適当る事に決定、

選試被握の林の中で製売死権を確

林の中に嬰兒死體

から密東を出して《履つてくれた は鬼狂一、と魔引た顕物の揚句風呂數位の中 にたつた管 要する五十からみの男を態よく脈 一くさり、結局機器に関つてくれ の釈答は私にめといふ人家の中心にく俺は般語の聴人衆だ々と仁義 このところ連旦密重つづきで置け 道係の井上並さん(三) にんつた特急山あかつき」の上り あかつき

から飯田西院中将夫妻の郷南で飯 (元)との結形式が廿二日午後二時 三婚舊三氏 次男騎兵中尉 泰男君 女光子さん(ニ)と…殿倉田取締役

飛行機を飛ば

は二十八十萬本、銀河が百世を

菱

經

濟

名賢共二日本一種原

面會

全鮮の林相打診

かをり一萬本、カイダ二百廿

省は北九州の中心都市部間と南鮮 を終て通信されてあたが今回戦行 設かないためすべて下間の中心

市族な動衆をもつてゐるに加ら (東京常語)北州と交通及び經済

四分の日を占め俗々王座を終

極東カマド

〇特典 | 超了省全國無息

東京海何派時間查

日宮元州と朝鮮を結ざ直通に

直通電信

四月一日阴道

収容し切れのので庶よ八幡編成と するためは、一日上り「あかつき」

三三本大嶋さん万族女評領也。一大郎特として説響使くてからざる「特米」の思慮で驱む時には何れの南他やあい。「原境型」断「交に至つては東部」要は勿縁オル「競音様っ伐り出しが響んとなり、

木材の重要性は年と共に加はり最一ものとなつたが、これがため半

募集 認可 **大中間** 大中間

個の方音系はき台配装心と寒間に真年青四の方音系はき台配装心と寒間に真年青

「関は各三総立以上で記す)

原城府陝山通二番曲

超過過過

三 戦 人 及中年の子 単版 中 原 中 版 中

ļ.

変換手ヲポム交換手ヲポム交換手ヲポム

農林局調査に乗出す

で政権はして連走した、各地に手 【町景龍語】去る一月組開に失敗

全鮮普通校に 更生計畫學習帳

せしめ壁能を通じ家庭の観賞を必。第日記』「家前簿」「我家の原生せしめ壁能を通じ家庭の観賞を必。第日記」「家前簿」「我家の原生 はて国際を駆けてゐるが本所學 のかを知らしめると共に各家庭の 内容を知るため昭和十二年度の新

春水や目高の

トピツク箱

は一いて一村十二名の村城峡市古山が長一切無出。立着成も無駄を 行路は勿論のこと連携管理、置撃一十七建五國といよ就定、選撃運動「て後世を確った。南豚かいふっす 要う強ひて舞へあげれば組織りの

を一枚に登部仲よく習き連ねたク

吳越同舟 "の看版七枚きりといふ|

【下開設】《河豚食は四人には言

緊uu と構選をスローガンの明「はじふくの味。水生数十萬數百萬」是点點用內質较元部落、水い圓不「も遊響答派にベットとして施度さし、

語金部が凝山姓を名乗つてある原

【雁兒島蔵】戸敷百数十戸の一部

陣容整備を急げ

に配け遡る暇かあつたら常題でも うやでや

| 高部器変速にベットとして施速さしなった| | 高部機器|| 近季ドッと押し寄せ|| 労戒の闘手たる取締りを行ふ事に

福し、住を取めて夜港の山さかひ はこの廿五日から卅一日までを野 歌をはなれた浪戏に来

関の多くが一 には従来の裏物 に同等の秘密で を回答の秘密で がいまると激

・ 大川で産を飲いたけで産を飲いて発れる。同じて英れる。同じて英れる。同じて英れる。同じて一番で

等朝指王

第三回母雖中部青酉品語會

京城府南大門通り、日本の一日の一年の一日の一年の一日の本版古中和北京の上に「朝鮮」の二年本に正生

朝鮮おみやげ

聚學 為 海市

會

* 花柳病 專門 () 。 特別等以

社員招聘
小交に課職るり二十五歳と向り十五歳をの政権の石土を係め出に、
東州市・市部省市に、但原保部人
京城府明治所
京城府明治所

永 指定・収 資人 募集 可を乞ふ

言葉が意機の 単単語院

朝鮮製氷株式會社朝鮮製氷株式會社

小店員募集

分割可引擎

告に没り特に「別にて周収すの場合は即納の単但就被当時金は即納の単但就被過程工士。」という。

本华战等小型校学课数高强用卷 国教住营的原理场中人来源文 国教住营的原理场中人来源文 全原部人一名之里;内地人企殿 全原源本司一 原本本司一 年来曾赴村木時計店

明 一受験上募集 一門五良より間裏 一門五良より間裏 一門五良より間裏 一門五良より間裏 一門五良より間裏 一門五良より間裏 一門五良人が離野、布部首に大の道野、布部首に大の道野、布部首に大の道野、布部首に大の道町、京城田、町町一九八番地 京城 研 數 學 館 電本一四大大番

用年十五路以上小學校本菜の者。大高南級地方青少年通信社員等集至会 甲シ次第送る

集英社

日午は二時ごろ京城黄金町四

万四を飛し掘ってみたことを自供

葛真居さんの 眼玉を盗む

本町四丁月加町下が両に八十五回。 触り真的原元統さん方に使人、 S城大男町六五○宋正柒("さは 日午前四時近日阿幌町二〇八紫 賣飛して逃走

> めてたく結婚 三女光子さん

四月十八日昌慶苑

脚れたり懸つたり けふの天気

東年所書店に張る 山本製作原町 松香 医植物 場際映質品は東洋館 兵庫解け続ば 松香 医し植物 場

本講座に依り「高商」卒業と同知識を把握せよ! 躍道日本の質業界に雄飛せんとする諸君は先づ

李泽教

中央 4月 寸大

ール(Daguerre)が脳翼を展明してから頭白年目に伝る記念すべき

春の撮影會も賑やかに開く

たが、この記念すべき。学に當つて歌『庭郷明者に歌語と述書とを探げ、更にこの道のたが、この記念すべき。学に當つて歌『優明句』、『の歌明は二年後の一八二九年七年にまゲールが巨視の鄭明に成功したのである。この鄭明は二年後の一八二九年七年にまゲールが巨視の鄭明に成功したのである。この鄭明は二年後の一八二九年 年である。西縣一八二四年ニエクブスが光樹作製に成功してから間もなく、一八三

ついいて超きます。無た作品は適當な方法で限題會を聞いて一貫民首年記念祭を機會に當日は變化の昌屋和内で春の攝影官を

宗高等商業醫會







下田氏が三回に亘り ラ

婦人の經濟知識 用語の解説を放送

大きな影響をもつ事柄でありなが 解してゐる人は果して何人居るで 様である、たとへばインフレーシーでの経済の大器に通する道を開い 放的に使用されてゐないといふ有一時事の動きをも解誌し家庭人とし な内容をもつた即隣だけに、一 現象の中心をなす時代となると 年の様に評論問題があらゆる社一問題となってゐる時事經濟局部を みんな一般歌人りにやつて、吹に

『い」え。 生きて励つて見れさへ

一汚れて飾つたら、聞をまたがせ

敬義の道名(二) 同七時三〇分(城)修名湯州 同七時ニュース・外

等時四〇分 ニュース ・牡蠣の役二、むかしの仲間 ・柴田 知常 ッレ州・観学友駒 原城部國大処政役・文學博士 | 「 原城部國大処政役・文學博士 | 「

同九時(東)常磐神 思要声闘守(宗派 廿四日(水)

同七時五一分(東)ラデオ院使同七時五一分(東)ラデオ院使

午前七時三〇分(京)蜀の修養

衛生調節(朝鮮山

第一放送 (第二日)

同一〇時三〇分(東)母の諸座 同九時一五分(氣象通報)

同二時(大)婦人の時間 牌車整 河田時の(水) 家庭期 の 金 鉱 期 の 同二時(大)婦人の時間 牌車整

歴史をお始めになる方へ

同六時(大)兄童脚、卒業の日同六時(大)兄童脚、卒業の日

同六時二〇分(東)コドモの新聞

軍神臨衛中佐の青年時代同六時二五分(東)青年の

を進行 大洋丸 離園 門司 開島丸 神経

近午(東)時**般・**外 正午(東)時**般・**外

天台宏連華王院(二十二間常)

三月二十二日より 上類 京日世界ニユース 11,00 2 その夜の秘密 11.10 3 朝日世界ニユース 12,44 4 禁 男 の 家 12,56 4 早明計画 [第十一七次] 第6年日

京城南大門通際電元 植村製 樂所

色肌•白

ンセ〇五

円一・大

粉白ひよや

粉白ひよや堂生資

≖♯ 堂 生 資 ¤₦

朝鮮郵船定期出則

女五九郎劇

夏愁不振

山行(等行)用計画设在十

育 調建音 光山 百

清津石日 元山〇日

學理に基ける

ガレー般虚弱 然養障碍、神經衰弱 神身の過勞

缺落症、病後恢復期 炎、產縟熱、性的减退 **腺病質、肺結核、肋膜** 胞の活力を昻進 食慾を増進し、 神經並に身體細

> 濃 AL IF 粧 から 濃化粧料であります 白粉下クリームをつけ る必要なく、簡單にお 化粧が出来る理想的の 新 李 6 p れ しいす n K < 自 上 出

粉が米

るて

なるボッシュ製品を 九三七年 総て優秀 設備す 拓者な

岡福・屋古名・户神・京東 天泰・連大・城京・北台 | 會商スツイ 店理代總派温及本日

0

鈴

太

博

士

發

つた。歌語は茶の間にある。透話 社のお父さまにもすぐお知らせし と云つて、放路に立 童話劇 (大阪より)

大阪商船株式会団「川代理店」
株式会団 第一田 組 一本に合って、一本に入りを入り、 一部に入りを入り、 一世の一十年(14年) 一部に入りを入り、 一七人で、 「現場」

つて窺いだばかりの大蝎夫人がび

つたら、あたしは、もつともつと

んかしてそんな身體になったら、 「さらか知ら。あたしは、家出な

こはい事会はないで頂戴。わた しの所に歸つて來れば、どんな身

『ほんとに、何もなかつた?」

うなきれいな身體で配つて座まし

はんとに、無事で配つて具れたん

しは、家を出て行く時と、同じや

、隣の茶の間で、今菜倉から融 と大きく叫んだので、

計 3

大阪七つ星の會

三月世日 世日

叱らないでね。魔子を叱らないで 『あなた、 闘子が 酔りました。

らな気になつて早くから壁校へ

連絡服秀脂

朝鮮汽船出帆廣告

。此婚汇辞五四

節水行(銀行)毎日

服用容易 美味芳佳

店商生柳·店 貴販手一本日

SANKYO 共

の殆ど妊娠嘔吐(悪阻)に苦しむこと なく結過する……②射乳の分泌 ・を調される……③射乳の分泌 ・を調される……③射気のが強を防止 ・を調される……③射気の併發を防止 ・を調される……③射気の併發を防止

別求、監察、派 各 國 ニキス、注射派 各 國

(詳細説明書にあり)

東京・宝町

三共株式會社